

櫻守の会

2022年3月号

2022年3月1日(通巻274号)

発行：櫻守の会代表 近藤 茂

〒665-0485 宝塚市栄3-4-10-505

会員数 113名(2月25日現在)

HP：<https://www.sakuramori.net/>

里山活動20年

関 将盛

有馬富士公園の「森の学校」受講同期生7~8人と公園内の一区画で実践してみるようになって私の里山活動が始まった。これまで記憶に残る幾つかのトピックスを紹介してみたい。

森の整備の傍ら背の高いネザサの群生地を生かしてササの迷路を作ると子供たちの人気スポットになり、春秋のフェスティバルや野外学習で賑わった。福島大池脇の古民家裏山裾に炭窯を作って、初回徹夜の炭焼きに参加した。その後も昔経験した年寄りが公園内で発生する枯れ木や間伐材の炭を作り古民家で使えるようになった。また炭焼き作業用の丸太小屋を間伐材で作ったりとワクワクする楽しい初体験を数多くできた。

他方、地元では、「武庫山の森づくりの会」や光ガ丘周辺の活動が始まり忙しくなったため有馬富士からは退き地元活動に集中するようにした。



対象地は住宅地に隣接しているため騒音や安全に一層の配慮が求められる。それでも通行人からお叱りを受けることもあったりで慣れるまで時間がかかった。活動地は土砂災害警戒区域も含む地域であったため急傾斜の竹林をアベマキ林にしたり、支多々川沿土手や裏山の急斜面のヤシヤブシ大木の除伐とその後の植林などをすすめた。7年前に光ガ丘の裏山裾に県の大規模な擁壁と頑丈なフェンス設置工事中には肝を冷やす土砂崩れも

あったが、3年前の大雨による土砂流出時にはこの工事完成でことなきを得た。しかし光ガ丘公園奥や行者山登山道入口には大量の土砂が流出して近隣住民総出で片付けた。

活動地には薄い表土に育った大径高木が数多い為か台風や大雨で根こそぎ倒れることも多い。そんな災害を防ぐにはどうしたら良いのだろうか。定期的に専門家による診断が必要かもしれない。



森もその世話人も次世代への継続策が大切と思う。傘寿を迎える今年も安全第一に森の自然を楽しみながら体力にあった活動を続けていきたい。

***** 目次 *****

- P1 序文：里山活動20年 & 目次
- P2 2022年2月度活動実績表 活動報告
- P3~4 活動報告：桜の園、青葉台、ゆずり葉の森、山手台、武庫山の森
- P4~6 お知らせ・案内：運営委員会報告、年会費・保険料 払い込み時の注意点、会員消息、訃報、武庫川エコハイク
- P6~8 櫻守ひろば：サクラの雑学いろは第6回、大予想：今年の桜は花付きが悪い！
ノコギリの目立て三題、会員紹介
- P8 活動予定表

活動実績表

2 月度活動実績表

月日	活動地・参加者 ()内は会員外	天候	作業内容	人数
1月26日 (水)	青葉台 19名	晴れ	(青葉台口、小林南大堰堤上下平と北逆瀬台口) 枯れ松の伐採	7
			(光が丘ルート) 路肩改修、階段の増設と改修	4
			(光が丘ルート入口周辺) 支多々川川床及び川／園路間平坦部の整備	8
1月28日 (金)	桜の園 (亦楽山荘) 18名	晴れ	(桜の尾根、林間広場) 植樹及び実生桜の周辺整備	6
			(遠見の道・ササラ沢上辺) 園路に掛かる枯れ木等の伐採	6
			(遠見の道・ササラ沢～四辻) 園路両脇の整備(シダ刈り取り等)	6
2月1日 (月)	美座小 逆瀬台小 5名	晴れ	環境体験学習中止のため、会員のみでシイタケ植菌を実施	5
2月3日 (木)	桜の園 (亦楽山荘) 15名	曇り 後 晴れ	(桜の尾根) 植樹及び実生桜周辺の整備、間伐	5
			(赤松道) 松及びコナラ枯れ木とヤシヤブシの伐採	6
			(遠見の道・遠見倉庫～赤松植樹地) 園路脇の枯木、落下枝の伐採処理	4
2月6日 (日)	武庫山の森 19名 (1)	晴れ 一時 雪	(南谷堰堤横)クヌギの植樹	5
			(中央ルート)常緑樹の除伐	7
			(南谷堰堤下流) 枯マツと枯コナラの処理	7
2月9日 (水)	桜の園 (亦楽山荘) 16名	晴れ	(桜の尾根) 東屋から桜の尾根間作業道周辺の整備	7
			(赤松道) 赤松植樹地手前で枯れ松とヤシヤブシ伐採	5
			(遠見の道・倉庫～赤松植樹地) シダ刈取り、枯れソヨゴ伐採、常緑樹間伐	4
2月11日 (金)	ゆずり葉の森 16名	晴れ	(コバノミツバツツジの丘) 笹、雑草の刈取り	6
			(どんぐりの丘、西高グラウンド下台地) 枯れ松伐採、実生桜の間伐	7
			(キノコの丘～白瀬川第二堰堤連絡道) 路肩改修、階段増設、道標更新	3
2月15日 (火)	山手台 17名	曇り	(山手台南公園の園路) ブラ階段を使用して園路補修 他	6
			(桜の谷の西側斜面) 常緑低木伐採、常緑中木間伐	6
			(アジサイロード) 公園のヤマモモの枝剪定	5
2月19日 (土)	武庫山の森 11名	曇り	(塩谷ルート) 階段の補充と付け替え	4
			(中央分岐付近、その他) 崩れそうな園路の土留め	4
			(南谷堰堤下流) モミジの移植	3
延べ参加者数				136

活動報告

桜の園(亦楽山荘)

1/28(金) 前回(1/22)遠見の道(つつじが丘～四辻間)で幹折れ枯れ木の伐採を行った際、掛かり木となって残してしまった途中にコブのある枯れ木先端部を、邪魔な枝を高枝伐りで除去後、ロープを掛け左右に揺さぶりをかける等苦労して引き落とした。その後園路周辺の枯れ木の伐採と常緑樹の間伐、密生繁茂したシダの刈り取りを行った。一方桜の尾根では前回土留めと周辺整備の済んだサクラと、追加で土留め設置したサクラに施肥を行うとともにヘッジトリマーを使って背の高い灌木の剪定を行い、午後には林間広場のコヒガンザクラ他数本にも施肥しました。

2/3(木) 桜の尾根の植樹と実生の桜周辺整備を進めるとともに、リストを作成し履歴の記録を開始。赤松道ビューポイントから上と遠見の道下辺では松、コナラとソヨゴの枯れ木、倒木並びに落下枝並びにヤシヤブシの伐採と処理、更に常緑樹の間伐を行い、園路周辺の整備改善に注力しました。



1/28 つつじが丘にも
焚火厳禁の立看板設置



2/3 赤松道ビューポイント
付近のヤシヤブシ伐採

2/9(水) 赤松植樹地付近で枯れ松とヤシャブシをチェーンソーとチルホールを使い、また遠見の道中段下辺で枯れソヨゴ等比較的大径木を大鋸で伐採し汗を流しました。東屋から桜の尾根への作業道周辺の灌木の除伐、剪定を進め桜の尾根全体の景観を改善しました。更にリンボク広場ではリンボクの幹が、成長につれ先端が重くなり傾きが大きくなってきたので、倒木防止対策として枝数本を伐りました。(加賀野 記)



2/9 遠見の道中段下辺で
枯れソヨゴに受け口伐り

青葉台

先ずご神木の荘川桜に今年 1 年の安全祈願を行った後、陽光広場下辺の小林南大堰堤下の市道に面した急斜面や陽光広場、北逆瀬台口付近で枯れ松等を多数伐採しました。また青葉台口の支多々川のコンクリート製川床や光が丘ルート園路と川岸間で倒木、落下枝処理や常緑雑木の伐採と間伐を行うとともに、光が丘ルート奥部～中間部の階段と路肩の改修を行いました。(加賀野 記)



小林南大堰堤下の急斜面で
常緑樹の間伐

ゆずり葉の森

1/11(火)に予定していた活動が雨で中止となり、本日が当該地の最初の活動となった。先ず白瀬川広場横のご神木(オオシマザクラ)に安全祈願を行いました。その後 1 班はコバノミツバツツジの丘で蔓延っている笹の刈取りを、他の 1 班はどんぐりの丘で中小の枯れ松十数本を伐採、次いで西高グランド下台地に増えて密生している実生桜を、この場所が大型の桜が見られる場所とすべく、大規模な間伐を進めました。更に 1 班は白瀬川第三堰堤からキノコの丘へ上がる連絡路の階段と路肩の改修と追設を行いました。(加賀野 記)



西高グランド下台地で
実生桜の大幅な間伐

山手台

南斜面では水仙が次々に咲いて見ごろを迎えています。毎年植え付け範囲を広げているので、立派な水仙畑になりつつあります。

今日は、まず園路の補修を行いました。腐った木の階段をプラ階段に取り換えたり新規設置を行いましたので、かなり歩きやすくなりました。アジサイロードでは公園の繁茂し過ぎたヤマモモの枝の剪定を行い、近くの桜が良く見えるようになりました。桜の谷の西側斜面では、明るい森にするため、前から引き続き常緑低木の伐採や中木の間伐を行いました。この区域の整備は今日で一段落しました。(岡 記)



アジサイロードヤマモモの剪定



園路の階段補修

武庫山の森

2/6 (日) 立春を迎え日差しに力が出てはきましたが、風が冷たく真冬の気温での作業開始になりました。本来は2年前に定植するはずがコロナの影響でできなかったクヌギの定植を行いました。育苗地から掘り起こすのも一苦労するほど立派に根を伸ばしており、お陰で植える穴も深くなりましたが、無事11本南谷堰堤の横に定植しました。昨年ササ刈りをした中央ルート沿いの常緑樹処理をしました。樹齢40年ほどのヤブニッケイを切ることで明るさが戻りました。また体験参加者にも常緑樹処理を経験していただきました。運営委員会で高木の伐採に関する安全作業確認があり、最近入会された会員にも実践で経験してもらうために高木の枯マツをチルホールや滑車を使い安全に倒して処理しました。

2/19 (土) 午後から雨予報で午前中だけの作業としました。春のお花見を控え、塩谷ルートの破損した階段の補充、ズレた階段の付け替えをしました。また園路の土留めを中央分岐付近、塩谷ルートの最高峰付近、大桜3号付近で行いました。前回までに高木を処理した南谷堰堤下流に、周囲で密集しているモミジを分散移植しました。将来モミジのトンネルになることを期待します。(横山 記)



クヌギの定植



階段の杭打ち

お知らせ・案内

運営委員会報告 (1月度)

代表 近藤 茂

2022年1月29日(土) 9:45~12:00 ふらごこむ1

1. 新型コロナウイルス対応・・・現行方針「緊急事態宣言中は活動を休止する、それ以外の時は活動を継続する。」ことを確認した。
2. 2月実施の環境体験学習(シイタケ植菌)・・・逆瀬台小・美座小の両校から「コロナ感染が急増したので外部との接触を避けたい」との連絡があり、2年続けて中止になった。
3. チェンソー講習会・・・3月23日にゆずり葉の森で実施することを決定し、受講者を承認した。
4. 宝塚第一小学校区まちづくり協議会との協業
 - 1) 桜見学会・・・4月3日に武庫山の森(活動日)で開催し、地域の参加者20~30人を案内する。
 - 2) 宝塚温泉まつり・・・5月5日に武庫川河川敷で開催予定のイベントに参加する。今年は作成済みの「竹とんぼ」を販売する予定。
5. 伐木時の安全作業の徹底・・・最近基本ルールが徹底されていない事例があったことに対し、まず基本ルールを具体的に示して安全第一で作業をするように注意喚起をすることにした。更なる対策等については2月度に検討する。
6. 活動地の植樹基準の作成・・・活動地により会員個人の植樹願望により植樹されてきた現状に対して、「一定のルール作りが必要」と認識した。委員会では「人為的に生態系に変化を与えない方が良く、他所より苗や種子を持ち込まない。」との考えが多数意見であった。更に詳細を詰め、委員会案を会員の皆さんに諮る様に進める。
7. 活動内容を見直して会員の増加を目指す検討・・・今月度は時間がなく討議できなかった。継続審議。

年会費・保険料 払い込み時の注意点

事務局

2022年1月17日から「ゆうちょ銀行」の種々の手数料が変更になっています。年会費・保険料の払い込みが現金の場合は、窓口でもATMでも払込者である会員皆様に手数料110円を負担していただく事になりました（昨年までは無料でした）。下表を見て皆さんの負担が少ない方法を選んで払い込みをお願い致します。

年会費1,500円・保険料800円、合計1,500円又は2,300円を払い込んだ時の手数料

		会が負担する手数料	払込者が負担する手数料	
			現金払込の場合	通帳を使用する場合
同封の赤い払込用紙を使用した場合	窓口払込み	203円	110円	0円
	ATM使用	152円	110円	0円
電信振替の場合 (口座間送金)	郵貯が ^レ ル外	0円	—	0円
	ATM使用	0円	—	100円

(参考) 貯金通帳に入金する時の手数料・・・下記の通りに変更されています。ご注意ください。

			通帳への入金手数料
紙幣のみの場合	窓口入金		0円
	ATM入金		0円
硬貨が混じっている場合	窓口入金	硬貨の枚数 1～50枚	0円
	ATM入金	硬貨の枚数 1～25枚	110円

会員消息

事務局

会員の異動はありませんでした。

【訃報】初代事務局長の伊藤益義さん 逝去されました

櫻守の会初代事務局長の伊藤益義さんが1月10日にご逝去されました。

伊藤さんは1999年の櫻守の会の発起人メンバーの一人であり、以後事務局長として桜の園以外の活動地（山手台・ゆずり葉の森・青葉台）の拡充、会報の発行（会報は1999年4月の創刊号以来1か月の休みもなく現在まで継続しています）等多くことを手掛けられ、当会の礎を築いてくださいました。また伊藤さんは「エコグループ・武庫川」を立ち上げられました。今日に至るまでの会へのご貢献に対し敬意を表し、厚く御礼申し上げます。 合掌

武庫川エコハイク 第177回「千苺水源池西」

エコグループ・武庫川

今回は武庫川流域最大の貯水池千苺貯水池の西岸ハイク 近畿自然歩道復旧後の西岸を歩きます

★お願い：マスク着用で「三密状態」を防止する活動にご協力願います

コロナ感染症拡大予防対策で「中止」もあり得ますので最新の情報で確認ください

日時：2022年3月12日（土） 雨天中止

集合：JR福知山線「道場駅」駅前広場 9時

ルート：JR道場駅前～千苺浄水場・羽束川合流点～千苺堰堤～近畿自然歩道～ゴルフ池～湖岸道～
普明寺分岐～波豆八幡神社～波豆バス停～西谷夢プラザバス停（バス）・・・武田尾駅

◆約 11km 健脚向き（アップダウンの多い山道） 解散：15 時頃一次解散「波豆バス停」
主 催：エコグループ・武庫川 後 援：兵庫県（自然環境保全）
*お問合せ：携帯 090-7763-6763（上田） URL：<http://ecomukogawa.web.fc2.com/>

< 櫻 守 ひ ろ ば >

サクラの雑学いろは 第6回 栽培品種の増殖方法

さくら守太郎

1. 栽培品種のサクラの増殖方法

昔から一般的に行われてきた増殖方法は、①実生（種子から育てる）②挿し木 ③接ぎ木 の 3方法があります。

栽培品種は新品種として認定された時の性質、即ち認定された原木の遺伝子（DNA）が引き継がれる事が必要です。サクラは自家受粉しないので、実生苗には確実に他のサクラの遺伝子が入っていることになり、栽培品種の増殖に実生苗を使ってはいけません。挿し木と接ぎ木は親木の一部を採取して成長させることですから、栽培品種の増殖に利用されてきました。更に最近ではバイオ技術のメリクロン法を使った苗も出てきました。

A：挿し木・・・普通のサクラは発根性が余り良くないので、特殊なサクラ以外は行われていないようです。

B：接ぎ木・・・成功率が高く、昔から多く行われてきました。栽培品種はオオシマザクラ系が多いので、台木には実生のオオシマザクラが最適と言われていますが、数多く揃えることが困難です。そこで発根性が良く挿し木でどんどん増やすことが出来て、かつ接ぎ木の活着率が良いものとして、オオシマザクラ系の“マザクラ”と言う台木専門の品種がよく使われているようです。

C：メリクロン法・・・洋蘭の増殖を目的に開発されたバイオ技術で、サクラの増殖にも適用されています。植物の生長点の分裂組織を採取して、無菌の培地で成長させて苗を作ります。武田尾の稲荷神社横の笹部桜の苗はこの技術で作られました。

2. 岡本南公園の笹部桜は本当に笹部桜？

岡本南公園（岡本の笹部邸跡地、通称：櫻守公園）に笹部桜の原木がありましたが、1998年（平成10年）に枯れてしまいました。現在も笹部桜と称するサクラが数本植えられており、各々にその由来が説明されています。書かれている内容を見ると下記の2種類があります。



枯れる2年前に原木の枝を取り、挿し木
で根付かせた2代目笹部桜



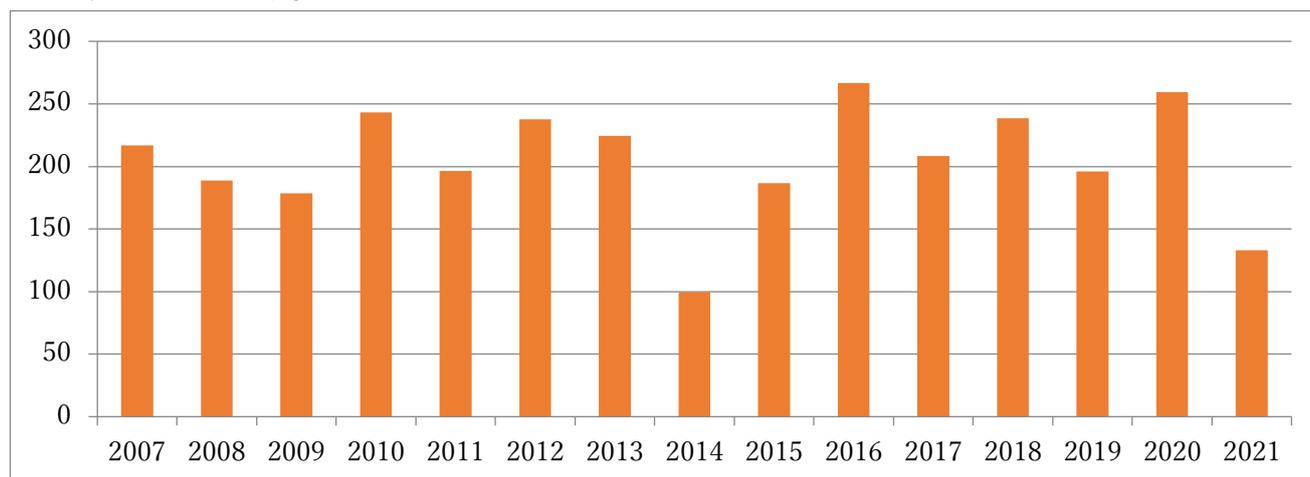
実生苗から育てた笹部桜

挿し木の2代目（岡本南公園には1本のみあります）は原木の遺伝子をそのまま引き継いでいるので、正真正銘の笹部桜です。残りの実生木は笹部桜でない花粉がついてできた種を発芽させたものなので、正確には笹部桜と言っはいけないことになります。

大予想：今年の桜は花付きが悪い！

陰山隆太郎

昨年夏は天候不順で日照時間が短かったのが、今年の桜花に影響が出ないかが気になっています。下図は気象庁の過去の気象データ観測地点「三田」から過去15年の8月の日照時間を抜き出してグラフ化したものです。



以前「桜の園」のエドヒガンが余り咲かない年がありました(2015年)。当時は何故か解らなかったのですが、後日 前年(2014年)の8月の日照が極端に少なかった事に気が付きました。翌年の葉芽と花芽の準備する8月の日照不足が大きく影響した様です。2021年の8月も日照時間がかかなり少ない。今年の花の量に影響があるかどうか1カ月後に解かるでしょう。

ノコギリの目立て三題

近藤 茂

① 目立ての方法

包丁は切れなくなったら砥石を使って研ぎますが、ノコギリの場合は刃を固定して目立て用ダイヤモンドヤスリをスライドさせて目立てを行います。目立てのポイントは包丁研ぎと同じく刃と砥石の角度を一定にすること。私の場合は工作台上に刃を挟んで固定し、貼り付けた目印の線に沿って砥石を動かします。これで簡単に目立てができます。興味のある方はトライしてください。



② 目立てが必要になったら上田さんに依頼

上田威さんに頼めば目立てをしてくれます。遠慮せずに目立てを依頼してください。なお新しい替刃をご希望の方は、山岡保寛さんまでお申し込みください。

③ ランバージャック鋸の刃をご提供ください

2014年より会員の皆さんへはシルキーのツルギ鋸をお渡ししていますが、私を含め古参会員の中に写真のランバージャック鋸愛好家が数名います。ランバージャック刃はステンレス鋼を焼き入れていないため、目立てが簡単にできて切れ味が戻ると言う長所があります。



ランバージャック鋸の予備刃が全く無くなってきました。ケース・ハンドルが無くても、また全く切れなくなったものでも構いません。眠っているランバージャック刃がありましたら是非ご提供ください。連絡先：近藤茂 080-5709-3630、kondo3410@suisui.ucom.ne.jp

会 員 紹 介

山下宏明さん

11月に入会した山下宏明です。3年前に62歳で退職しましたが、楽隠居ではアル中まっしぐら。そこでちょっと大げさですが、第2の人生の柱を「ボランティアと防災」に決めました。しかしハードルが二つ。一つはボランティアと防災の中身。もう一つは股関節の手術です。

仕事柄、若者のボランティアを支えた私は、東北被災地にも出向きました。宝塚での阪神淡路大震災の被災体験は防災の原点です。これをどう活かすか。手術は成功したものの、コロナ禍の自粛で第2の人生どころではないジレンマに陥ります。それでも三木市の広域防災センターに通って防災士の資格取得。武庫山や六甲山に登って体力回復。9月には縄文杉を拝んできました。山歩きと自然の奥深さを再認識していた矢先、「櫻守の会」に出会ったのです。

顧みれば20年ほど前、光ガ丘中学に通う長男が未整備の武庫山を探検しながら帰ったのを知り、あきれ返りました。何年も前、黄ヘルメットの皆様が武庫山の急斜面で作業する姿を拝見し、私には絶対無理だと驚愕したものです。そんな私が11月初頭、武庫山活動に遭遇し、「これだ」とひらめきました。近所でやれるボランティアで、健康や自然環境にプラス。地域貢献や防災にもつながる。一念発起、「櫻守の会」は願ってもないことだと。

初心者なので先輩の皆様には何かとご迷惑をおかけいたします。週3非常勤もあり、さしあたり武庫山でボチボチ活動しますが、よろしく願いいたします。



活 動 予 定 表

月別行事予定表

3月		場 所 等	4月		場 所 等
3月2日	水	桜の園 (亦楽山荘)	4月1日	金	ゆずり葉の森
3月6日	日	武庫山の森	4月3日	日	武庫山の森
3月10日	木	ゆずり葉の森	4月6日	水	桜の園 (亦楽山荘)
3月15日	火	山手台	4月14日	木	桜の園 (亦楽山荘)
3月19日	土	武庫山の森	4月16日	土	武庫山の森
3月21日	月	桜の園 (亦楽山荘)	4月19日	火	山手台
3月25日	金	青葉台	4月23日	土	会報印刷/運営委員会
3月26日	土	会報印刷/運営委員会	4月24日	日	桜の園 (亦楽山荘)
3月27日	日	桜の園 (亦楽山荘)	4月27日	水	青葉台

<編集後記>

コロナ感染症対策に加え、気候変動対策、人権問題、ドーピングや判定問題など難しい大会となった北京冬季オリンピックも閉幕しました。日本選手団は冬季としては過去最多のメダル獲得、アスリートたちの努力の結果を称えたい。ロシアのウクライナ侵攻という危機的状態の回避はできるか。3回目のワクチン接種も進み、パンデミック終息への努力が続いている。平和な春の訪れを願う。(瀧本 記)